

研究課題名：

アイスホッケー競技大会関連新型コロナウイルス感染症事例における積極的疫学調査結果を用いた感染リスク因子の検証

研究の目的と方法：

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生が確認されている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は国内外で大流行を起こし、社会の様々な場面で感染対策が求められています。2022年1月、北海道釧路市においてアジアリーグアイスホッケー大会が開催され、参加者から多数のCOVID-19の感染者が報告されたことから、北海道庁と北海道釧路保健所が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）」（以下、感染症法）第15条のもとで積極的疫学調査を行いました。本研究では、アイスホッケー競技をより安全に実施するために、保健所が持つ同調査の結果及び北海道立衛生研究所のゲノム解析結果を二次利用し、選手、チーム関係者、大会関係者及び観客にとっての感染リスクとリスク因子を検証いたします。本研究の結果は、新型コロナウイルス感染症の予防や治療に非常に有用な知見をもたらす、社会的意義は非常に大きいと考えられます。研究の成果は学会や学術誌にて発表します。その際にも、対象者の氏名等個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

2022年1月に北海道釧路市において開催されたアジアリーグアイスホッケー大会の参加者（選手、チーム関係者、大会関係者及び観客）が対象です。研究の参加・不参加に関する問い合わせは下記代表者までご連絡ください。

研究期間：

2023年4月1日（承認日）～2024年3月31日

研究に用いる試料・情報：

大会参加者の氏名、年齢、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）検査結果、SARS-CoV-2ゲノム解析結果、観客の座席情報、感染者の疫学情報（基礎疾患、ワクチン接種状況等）。これらの情報は感染研に送付時に個人が特定されないように匿名化されています。

研究組織：

研究全体の管理責任者：

国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター第四室 山岸拓也

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 飯田橋ブルーノステージビルディング J1601

TEL 03-6261-4865 FAX 03-6261-0189